

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	合成構造設計規準作成小委員会		主 査 名：河野昭彦 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼コンクリート合成構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福元敏之
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合成構造に関する規準，指針類の位置付けの明確化（2009 年度） ・ 合成構造に関する親規準のあり方の検討（2009 年度） ・ 合成構造規準・指針類の親規準として新たに合成構造規準を策定すること (2010 年度) 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：河野昭彦（九州大学） 幹事：福元敏之（鹿島建設），鈴木英之（安藤建設） 委員：津田恵吾（北九州市立大学），堺純一（福岡大学），称原良一（清水建設），西村泰志（大阪工業大学），土井希祐（新潟大学），蜷川利彦（九州大学），毛井崇博（九州工業大学）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 合成構造に関する各種規準，指針類の位置付けの明確化を行った。 2. 合成構造設計規準のあり方を検討した。 3. 合成構造設計規準の目次と執筆分担を決定し、執筆内容を検討した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 鉄骨鉄筋コンクリート構造規準の改定と親規準の整合性を保つ必要がある。 2. 土木の複合構造規準等、海外の合成構造規準等の情報収集の必要がある。